

1 「…おそい！何時だと思ってるの！」

2 「はあ…ったく、毎朝起こしに行く私の身にもなってよね…」

3 「はいこれお弁当、今日はあんたの好きな肉巻きピーマンをいれといてあげたから。」

4 「…ん？なに？早く行かないと遅刻するわよ。」

5 「…明日から…こなくていい…？」

6 「…はああ…ばかいわないで、ねぼすけのあんたが遅刻しないために起こしに行つてあげてるんでしょ、私がいなかったら明日からどうするつもり？」

7 「…そつ、彼女に…彼女に？」

8 「…え、あんた彼女できたの？」

9 「…へ、へ……」

10 「…あ、そうなんだ、部活の後輩…へ……」

11 「…あ、ああそういうことね、彼女と登校することにしたんだ…」

12 「…え、でも大丈夫？そうはいつでも朝起きられないんじゃない？知らないわよ？毎日寝坊して彼女から愛想をつかされても…っ。」

13 「あ、ごめん、バカにしたいわけじゃなくて、心配だったっていうか…」

14 「…そ、そうよね、あんたも高校生だし、一人でなんとかできるわよね…」

15 「…あ！じゃあお弁当！お弁当だけ渡しにいくわね！」

16 「これはあんたのお母さんからじきじきにお願いされてることだから…え。」

17 「あ、彼女さんが…作ってくれる…あ、あ…」

18 「そ、そう、お母さんにも…っ、うっん、材料費もいただいてたし、自分の分を作るついだったから別に、負担とかじゃ…」

19 「…う、うっん、別に、改めてお礼なんて…」

20 「…あ、あくけどこれで楽になったわ、お弁当の手間も省けて、迎えに行かずに済むからゆっくり家を出られるわ」

21 「…っ、あ、謝らないでよ、迷惑じゃなかったし、幼馴染の腐れ縁っていうか…」

22 「…じゃあ、今日が最後の登校日に…」

23 「…今日から…彼女さんと…」

24 「…っ、そ、そうよね、私と一緒にいたら変に誤解されちゃうもんね！気が回らなくてごめんごめん！」

25 「…う、うん！またせてるんでしょ、行ってきた行ってきて！」

26 【去っっっくSE】

27 「……あ、あのさ！」

28    △何か言っのをこらえて▽「…っ、んっ…」

29    △泣きそうだけど精一杯笑顔で▽「お、おめでと！人生初彼女だね！」

30    「うん！また話し聞かせてね！ば、ばいばい…」

31    「…そっか、あいつ、彼女できたんだ…」

32    「……………うっ。うっ、うっ、うううう…」

33    「せ、せめて…気持ちだけでも伝えればよかったあ…」

34    「ぐずっ…私のバカア…もっと、もっと素直になっておけば…ひ

ぐっ…うっ、んんっ…ぐずっ…」